



現在、箕輪町セーフコミュニティ推進協議会を中心に、セーフコミュニティ再認証に向けて取り組みを進めています。

来年2月には、本審査が行われますが、それに先駆けて8月7日に事前指導があり、再認証に向け、町の取り組みについて、プレゼンテーションと指導員による講評が行われました。

◆プレゼンテーション要旨◆

■ 認証取得後の主な取り組み

2014年3月、認証取得日の5月12日をセーフコミュニティ活動の推進を期する日とし、「箕輪町安全安心の日」を宣言しました。2015年からは、参加者が話し合う分科会と報告の全体会からなる、手作りの「箕輪町安全安心の集い」を開催しています。

全町展開のため、北小河内区に加えて富田区、福与区をモデル地区とした他、町内では三分の一の5地区でセーフコミュニティ推進協議会が組織化されました。

■ 7つの指標

セーフコミュニティの7つの指標に即し、セーフコミュニティを推進する体制や協働での取り組み、環境や年齢別のリスクの分析と対策、対策の内容、行程、影響を評価する手法、国内外のセーフコミュニティネットワークへの参加など、町の取り組みについて説明が行われました。

■ 課題

セーフコミュニティに関するアンケートを4回実施しました。「認知度」「関心度」「安全安心感」は横ばいでしたが、若年層、特に20代では「認知度」「関心度」が低く、知っているが22.5%、関心があるは42.5%と年代別では最も低くなっています。

地区での取り組みは、広報や出前講座を実施して全町展開を目指していますが、15地区のうち組織化されたのは5地区に留まっています。セーフコミュニティに関する理解と協力、いわゆる協働については、一部において「やっていることが見えない」、「費用対効果はどうなのか」などの声もあり、「見える化」が不足していると考えられます。

■ 指導員評価

来町した、王書梅（ワン・シュウメイ）指導員からは、「セーフコミュニティで大事なことは人の理解や熱意、思い。箕輪町には思いがあると感じた。5年前と比べると、力や能力が備わってきている」と認証以降の取り組みについて好評価をいただきました。



指導員の方3人がプレゼンを受け講評しました



町長のプレゼン

交通安全対策委員会
委員長のプレゼン

